

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 4月 1日

事業所名 みらいくらぶ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%			
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・車いすの用意はあるが、手すりなどがあってもいいと思う	・必要な場所を考え、検討します	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%	・全職員が参加できる体制になっていないように思う	・どの委員会活動にも参加出来るよう体制を考えています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	71%	14%	・前年度はHPにて公開していたが、更新が出来ていなかったため、会報や施設内に掲示する ・HUGでの公開だけでなく、HPを作成し、外部の方も見れるようにする	・新しくHPの作成を検討します	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	29%	71%	・第三者による外部評価の機会が無いように思う	・各園さんから安心して預けられるよう支援していきたいと思えます	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	86%	14%	・研修を行うことは出来ているが、希望する内容で受けていきたい	・研修の機会を増やしていきます	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・その日に職員で話し合い、決めている		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%	・同じプログラムの流れになっていることが多い	・学年や傾向に合わせて、役割を考えています	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・平日、休日、長期休暇ごとにプログラムを変更したりして支援している ・細やかな課題設定には個別対応している	・内容を細かく設定できる様、努力いたします	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・毎日朝礼を行っている		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・毎日の朝礼で前日の振り返りを行っている ・終了時にはすでに退社した職員もいるが、業務日報などで問題などが確認できる	・継続するよう努めます	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日日報を作成している ・サービス提供記録にてしている		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	71%	29%	・サービス担当者会議は事業所内のみで行っている	・機会があれば参加致します
		21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・保護者を通じて行っている	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		14%	71%	・現在医療的ケアが必要な児童はいない	・必要になれば保護者を通し、情報収集に努めます	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		100%	0%	・保護者を通じて行っている		
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		29%	71%	・現在該当する児童はいないが、必要であれば対応できる	・必要になれば、情報収集に努めます	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%	0%	・連携は行っているが、研修等は行っていない	・研修の機会を増やしていきます	
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		14%	86%	・各家庭で学童を利用されていることはあるが施設と直接の交流等はない ・機会があれば参加している	・機会があれば参加致します	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		71%	29%		・参加出来ない職員へ伝達研修を行っている	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		100%	0%			
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		100%	0%	・毎月ペアトレを配信している		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86%	14%	・保護者会は行っているが、保護者同士の連携を少しずつ出来始めている ・保護者会は定期的に行った方がよいかもしれない	・今後も年間予定を決めて、定期的に行えるよう、機会を作ります	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		・継続するよう努めます	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月活動記録を配信している		
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%			
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14%	86%	・コロナ発生以降、地域住民との接触を控えていたため、機会がない		
	非常時	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	86%	14%	・マニュアルを職員間で共有出来ている	・保護者にも伝えられるよう、機会を作ります
		39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・奇数月に訓練を行っている	・今後も行っていきます
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		86%	14%	・全職員が伝達研修を受けられている	・定期的に行っていきます	

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・現在身体拘束が必要な児童がない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・保護者の確認を取りながら対応している ・医師からの指示書は無い
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	86%	14%	・集計して検討し、改善している